

「現地を訪問して想うこと」

C 岩手県コース参加  
1996年文学部卒業  
澤村 哲也

東日本大震災が発生してから、もうすぐ5年になろうとしている。これまでマスメディアの情報等でしか、その状況を知ることができなかった。現地を訪れて、現実に向き合いたいと思い、今回のツアーに応募した。ツアーに当選してからは、東北関連のテレビを意識してより見るようにしたり、また過去ツアーに参加された校友のレポートをホームページからプリントアウトして熟読したりして、自分の中でイメージトレーニングをしながら、ツアー当日を迎えるようにした。

ツアー当日、バスの中での自己紹介で参加者皆様方の目的意識の高さに驚かされた。私はその時点で、自分の勉強不足を痛感させられた。この2日間で体験することで、しっかりと学習していこうと新たに思い直した。バスガイドさんからお聞きしたお話で印象に残っていることがあるので、記載したい。

- ・岩手県の面積は四国4県分に相当する。
- ・岩手県は販売されている豆腐の種類が多い。(岩手県 20種類位 他県等 5種類位)
- ・奥州藤原氏の四代までの覚え方・・・「きもひやす」

初代 清衡公 (きよひらこう)

二代 基衡公 (もとひらこう)

三代 秀衡公 (ひでひらこう)

四代 泰衡公 (やすひらこう)

名前の最初の部分を組み合わせると覚えやすい。

ほんの一部を記載してみたが、どのお話も目から鱗が落ちる気持ちで関心をもって聞くことができました。とても勉強になりました。

ツアーは遠野伝承園見学、三陸鉄道乗車、キャピタルホテル1000さんでの勉強会と交流会、中尊寺金色堂見学など、非常に中身の濃い行程で大きな刺激を受けることができました。

勉強会の中でのお話で、「忘れ物をしても取りに帰らない。」という言葉が鮮明に自分の中では心に残っています。忘れ物を取りに帰った人で助かった人はいないというものでした。人命が大事であるということを考えさせられる事案です。いざその時になって、なりふり構わず行動できるかということは、非常に重要なことです。そのために普段からの心構えをしっかりとしていなければならないと認識させられました。

サッカー元日本代表の松井大輔選手からいただいたTシャツをツアー記念として大事に着ていきます。

一泊二日の短い期間ではありましたが、貴重な体験をすることができてツアーに参加して本当に良かったです。東北は広いです。今回訪れることができなかったところは、いずれは機会がありましたら、訪れてみたいです。東北のことをもっとよく知り、しっかりとした考えを持つ人間になりたいです。

今回、校友会事務局の皆様、岩手県校友会の皆様、旅行会社さん、バスガイドさん、バスの運転手さん、ツアー参加者の皆様、それと携わった皆様方に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。